

報告書

開催日時	平成 27 年 10 月 19 日（月） 19：00～20：30	
開催場所	夜明公民館	
出席議員	(2 班) 森山、坂本（盛）、松野、居川、井上、佐藤	
	班 長	森山
	司会者	佐藤
	記録者	松野
参加人数	10 名	
主な要望 ・ 提言等	A 氏	
	1. なぜ、市長の提案である副市長 2 人制が反対されたのか。	
	10 対 11 で否決された。唐突な提案であり、公約になかったなどの意見があった。給与の減額案については可決された。	
	2. 日田市の第 3 セクターの考えは、	
日田市は第 3 セクターをかかえているが、土地開発公社は解散した。		
B 氏		
1. 市の有料、無料の駐車場はどれだけあるのか。もっと駐車場を増やしてほしい。		
ひな祭りなどで利用の多い港町の駐車場は無料であるが、要望として無料駐車場のことは聞いておく。		
C 氏		
1. 地方創生で都市部からの人口移住を考えてもらいたい。子供を育てる世代のことを考えて、仕事と連携した取組も考えてもらいたい。		
空き家バンクがあるが、Uターン、Iターンについても取り組んでいる。また、竹田市では、空き家を利用した移住サポートをしている。委員会でも話合い、勉強したい。		

D氏

1. 結婚していない人が多いと思う。人口を増やすために、日田市は若者のことを考えてもらいたい。
若者の出会いの場が必要である。自分の地域の現状を考えてもらいたい。

一番の問題だと思う。議員としても考えていかなければならない。婚活イベントは、三花公民館や商工会青年部も行っているが、三花公民館だけではうまくいかない。行政も関わってもらいたいとの意見もあった。婚活イベントなど、現状を受け止め、把握し取り組んでいきたいが、雇用等の条件を整えることも必要である。検討すべき事と思う。

E氏

1. 生活が安定しない。雇用の場の創出。竹がお金にならないで困っている。岡山県の真庭市の取組も参考に、竹の利用ができないか考えてみたらどうか。

課題として、検討してみたい。

2. 日田市のビジョンはどうなっているのか。

人口ビジョンの案をつくっている。将来5万人を下回ると推計されているが、5万人を確保する。そのためにはどのように日田市の特性を生かしていくかが大事

3. 国の予算ではなく、市独自で考えるべきではないか。

市の予算は限られている。国の予算なども取り入れながらやっている。日田市が生き残るためには何をすべきか考えていきたい。

F氏

1. 日田市の良さがあるが、豆田町があれだけ立派なのに、生活道になっているので、車、自転車通っていて、見学できない。老人がゆっくり歩いて行けるように考えてほしい。歩行者天国も考えてもらいたい。

地域の方には反対の意見もある。根気強く取り組みたい。意見として受け取る。

G氏

1. 市が行っている老人バスセンターの停留所などの発着時間がはっきりしていない。交通弱者に優しい取組をお願いしたい。

地域振興課で確認する。

H氏

1. 高齢者の立場から考えて、ひたはしり号も空気を運んでいる。効果のあるようなやり方を考えてもらいたい。高齢者は車を運転できない。

地域振興課とも連携して考える。要望、意見として検討させてもらおう。

I氏

1. 福祉バスは、会長の所に切符を買いに行くなど不便である。大分市のようにカード化できないか考えてもらいたい。

意見、要望として伝える。

J氏

1. 日田市に住みたいと思われる事を、もっとはっきりさせた方がよい。例えば、電気代を安くする。案として、小水力発電なども考えてはどうか。